

パレスチナ・中東情勢 と教会の働き

お話し：司祭 ジョージ・コプティ師

エルサレムおよび中東聖公会エルサレム教区

ヨルダン聖パウロ教会牧師

今中東情勢は、混迷を極めて
いる。ISによるテロ攻撃が横
行し、難民が続出している。中
東聖公会エルサレム教区は、パ
レスチナ、イスラエル、レバノ
ン、シリア、ヨルダンに教会・
諸施設を持つが、そこにおいて
どのような働きが進められてい
るか、難民救済をどのように進
めているか等について、ヨルダ
ンはアンマンの聖パウロ教会牧
師のジョージ・コプティ司祭か
らお話を伺い、それを通して、
日本の私たちにできることにつ
いて共に考えたい。



7月16日(土) 14:00~16:00

聖アンデレ主教座聖堂 港区芝公園 3-6-18

席上献金：エルサレム教区を通して難民支援のために捧げられます。

参加費 500円

東京教区正義と平和協議会・信仰と生活委員
会・人権委員会 共催
協力：サラームパレスチナ

講演会后、東京教区正義と平和協議会が行われます。

問い合わせ先 講演会：東京教区信仰と生活委員会委員長
協議会：東京教区正義と平和協議会議長

(神崎司祭:090-2167-9365)
(井口司祭:090-1265-5901)